



水稲・イネカメムシ情報



イネカメムシの注意報が発令されました

- ◆ 昨年度は県内ほぼ全域で発生し、やや多い状況でした。
- ◆ 越冬前の個体数が多かったため、発生が多くなると予想されます。
- ◆ **出穂期とその7～10日後の2回防除(液剤)を徹底**してください。

(令和7年6月2日付 愛知県 斑点米カメムシ類情報第1号より)

●被害を防ぐために

- ・イネカメムシは出穂直後の穂を吸汁して不稔籾を生じ減収を引き起こします。また、その後も穂の吸汁を続けると斑点米が生じます。
- ・防除適期である出穂期(穂の先端が少しでも出た茎が4～5割)を逃さないことが重要です。
※防除適期については別紙「品種別予測出穂期一覧」を参考にしてください。
- ・薬剤の感受性低下を防ぐため2回防除では、系統が異なる薬剤を選定しましょう。
- ・一部地域では、キラップフロアブルで感受性低下事例があるため、防除薬剤の選定は地域の指導機関等に相談しましょう。

【イネカメムシに対する主な薬剤】

系統	IRAC	商品名(例)	使用回数(※1)
ネコチノイト [®]	4A	スタークル液剤10、顆粒水溶剤(粒剤、豆つぶ ^(※2))	3回
スルホキシミソ	4C	エクシードフロアブル	3回
フェニル [®] ラゾール	2B	キラップフロアブル、(粒剤 ^(※2))	2回

(※1) 農薬散布に当たっては、使用回数等のラベルの表示内容を必ずご確認ください。また、止水をして処理してください。

(※2) やむを得ず粒剤を散布する場合、出穂期防除は**キラップ粒剤は出穂7～10日前、スタークル粒剤は3～5日前**です。

粒剤による体系防除は、**スタークル粒剤を出穂3～5日前＋キラップ粒剤を出穂期頃**です。

または、**キラップ粒剤を出穂期7～10日前＋スタークル粒剤を出穂期の5日後頃**に処理しましょう。



Noriyuki Miyake



<イネカメムシ成虫>



<イネ籾を吸汁中の様子>

●予測出穂日

- 品種や移植日、播種日(V溝直播)によって、出穂期が異なるため以下の表を参考に適期防除を行ってください。
- 今後の天気によっても出穂期が前後しますので、気象庁の1か月予報(右記QRコード)を参考に、出穂期の前後に気を付けましょう。

※予測出穂日はAgrilook®を用いて過去の気象データに基づいて算出しております。

※予測出穂日は圃場条件、栽培管理により変化するため出穂期の目安としてご活用ください。



【気象庁 一ヶ月予報】

【予測出穂期一覧】 品種:○○○○

移植日	中干 終了期限	幼穂長 1cm	出穂期	イネカメムシ 防除適期①	斑点米カメムシ 防除適期②
4月10日	6月11日	6月18日	7月6日	7月6日	7月16日
4月15日	6月14日	6月21日	7月9日	7月9日	7月19日
4月20日	6月18日	6月25日	7月13日	7月13日	7月23日
4月25日	6月22日	6月29日	7月17日	7月17日	7月27日
4月30日	6月26日	7月3日	7月21日	7月21日	7月31日
5月5日	6月28日	7月5日	7月23日	7月23日	8月2日
5月10日	7月1日	7月8日	7月26日	7月26日	8月5日
5月15日	7月4日	7月11日	7月29日	7月29日	8月8日

【予測出穂期一覧】 品種:○○○○

移植日	中干 終了期限	幼穂長 1cm	出穂期	イネカメムシ 防除適期	斑点米カメムシ 防除適期
4月10日	6月12日	6月19日	7月7日	7月7日	7月17日
4月15日	6月15日	6月22日	7月10日	7月10日	7月20日
4月20日	6月19日	6月26日	7月14日	7月14日	7月24日
4月25日	6月22日	6月29日	7月17日	7月17日	7月27日
4月30日	6月26日	7月3日	7月21日	7月21日	7月31日
5月5日	6月29日	7月6日	7月24日	7月24日	8月3日
5月10日	7月2日	7月9日	7月27日	7月27日	8月6日
4月10日	6月12日	6月19日	7月7日	7月7日	7月17日